

## 鶴頂山スノーハイキング

日程 : 2015年2月21日(土)  
メンバー : 勅使河原、荒井  
ルート : 鶴頂山登山口 ⇒ 鶴頂山 往復  
天候 : 晴れ  
報告者 : 勅使河原

予定が空いたので、荒井さんとスノーハイキングへ出かけることにする。スノーハイキングなら定番は奥日光だけど、渓嶺会に入会して間もないころ一人で登った鶴頂山を思い出しここにする。

出だしのスキー場跡地は、傾斜も緩く快適に歩く。スキー場が自然に戻っていくのを感じながら歩くのも、また楽しい。

天候もよく、スキー場のトップでは展望も少し良くなり、頂上からの眺めを期待してしまう。そんな中、スキー場跡地を抜けてからの緩い傾斜、快適に歩く。傾斜も緩くスノーシューの威力も發揮され楽しいですね。

荒井さんが地図を見て「鶴頂山手前のこの傾斜は登れるのですか?」の問い合わせに、つい「じゃあ、行ってみましょう」と急傾斜に入ってしまう。私は急傾斜に立ち向かう感じが楽しく休憩を取るのを忘れてしました。ちょっと反省。

頂上付近では休憩をとらなかった為に、荒井さんがシャリバテ気味になったが、あと少しと少しと、頑張ってもらう。

鶴頂山だけに、頂上のお社には鳥の飾りが屋根にある。でも、なぜ鳩??出来栄えも、本物そっくり。良く見ると動きだし、歓迎してくれました。



雲海も見え、久しぶりの頂上で満足感に浸る。



頂上直下の急傾斜は登山道に沿って下り、傾斜が緩くなったところで、最短距離を目指し地図を読みながら下る。少し歩くと登りで付けたトレースを発見。あとは来た道を戻り無事下山。

雪の上を歩き回るのも、楽しいですね。